

## 第1回福山市景観計画検討懇談会における主な意見

## 1 景観計画の検討に当たっての基本的な考え方について

(1) 景観形成の根底をなす視点に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 計画づくりにおいては、良好な景観形成だけが目的ではない</li> <li>② まちづくりのために景観をどう使えばよいかポイント</li> <li>③ 計画づくりは、福山のまちをどうしていきたいかに尽きる</li> <li>④ 景観計画は行為を制限するためのものではなく、目指すべきまちづくりをまとめることが求められている</li> <li>⑤ 「何のために景観計画をつくるか」そして「福山市の景観計画には何が大事か」を考えることが重要</li> </ul>
(2) 景観形成の目標、方針の決定に関して	<p>〔まちづくりに関して〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 良いまちづくりとは、潤い、喜び、楽しみを感じて元気に生活できる環境づくり</li> <li>② 「地域の誇り」を尊重したい</li> <li>③ 市民にとって快適で、安全で、住みやすいまち</li> <li>④ 人口減少を防ぎ、産業を活性化する</li> <li>⑤ 来訪者を増やし、産業振興を図る</li> </ul> <p>〔まちづくりの一側面としての景観づくりに関して〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 住民と来訪者にとっての魅力向上させ、まちづくりに誇りを持たせることが必要</li> <li>② 人口・人材の確保のためにも、感性が育てられ、リターンしたくなる景観づくりが必要</li> <li>③ 本市はものづくりのまちであり、企業活動の利便性とバランスのとれた景観づくりが必要</li> <li>④ 景観整備を行った商店街では、人通りが増え、空き店舗が減少している事例もある</li> <li>⑤ 農村風景の維持のためには、地域の人が元気であることが大事</li> </ul>
(3) 景観形成実現の方策に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 住民が地域の素晴らしさや、力を合わせれば素晴らしいまちになるという意識を持つことが必要</li> <li>② 「地域の協働」を尊重したい</li> <li>③ 豊かな自然は、地域毎に市民と協調しながら保全すべき</li> <li>④ 住民のまちをきれいにしようとする気持ちが大切</li> <li>⑤ 市内には誇りうる景観があり、もっとPRすることで市民意識も高まる</li> </ul>

## 2 景観形成のための取組について

<p>(1) 市域の景観資源について</p>	<p>① 景観には、長い地球の歴史の中で自然につくられたものと、先人が築き上げてきたものの二つの柱がある</p> <p>② 福山城周辺など、福山市の景観は良くなったと感じる</p> <p>③ 福山城や堂々川の砂留めなど、<b>歴史的な公共構造物にも着目すべき</b></p> <p>④ 神谷川や芦田川、モッコクなど<b>福山を代表する景観について学校教育の中でも取り上げるべき</b></p>
<p>(2) 景観形成のための基準について</p>	<p>① 景観を乱すマンション立地について法的に問題なければ対応できない</p> <p>② 規制が多すぎると自由な社会・経済活動が阻害されることもあるが、<b>住民の思いを守るための規制も必要</b></p> <p>③ 景観法により、より良い環境づくりのための制度が整い始めた</p> <p>④ まちづくりにおいて建築物は点に過ぎないかもしれないが、<b>福山に見合った実効性のある基準</b>の作成に期待する</p>
<p>(3) 屋外広告物の制限について</p>	<p>① 国道2号や国道486号など、幹線道路の沿道で看板が乱立している</p> <p>② 福山の玄関口である駅前ビルには金融会社の看板だらけのものがあ、一定の規制は必要</p>
<p>(4) 公共施設の整備について</p>	<p>① 幹線道路の沿道を落ち着いた雰囲気にするため、駅前大通りのクスノキのように街路樹を大きく育てることが必要</p> <p>② 電線類の地中化を商店街で進めることが必要</p>
<p>(5) 歴史・文化を守り育てる取組について</p>	<p>① 先人が刻んできた<b>歴史を崩すのではなく、いかに守り表現していくかが大切</b></p> <p>② 過去、現在、未来の人々とのかわりの中で、<b>どのようなものを後世に残していくのか</b></p>
<p>(6) 自然や農地の保全に向けた取組について</p>	<p>① 自然を壊すことは多かったが、守り、つくってきたことは少ないと感じる</p> <p>② 潤いを与えてくれる山々が荒れ放題であるが後世に伝えていく意識が十分でない</p> <p>③ 農地には様々な機能があり、遊休農地の解消に力を入れる必要がある</p> <p>④ 「ばら」を引き立たせる「みどり」を増やす<b>大規模な取組が必要</b></p>